

学習・生活実態調査（令和7年度）

集計結果と分析（国際教養学部・教育学部）



1. アンケートの実施

令和7年度学習・生活実態調査を、2026年1月末の在籍者494人に対してGoogle FormsによるWeb調査で実施した。その集計結果を報告する。回答数は222人（回収率44.9%）であった。大学院生は6人から回答があった。今回は両学部の分析結果について報告する。

実施時期	令和8年1月26日から2月20日							
対象者 (人)	学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合計（回収率）		
		国際教養学部	96	64	63	77	300	494
	教育学部	50	52	44	48	194		
回答者 (人)	国際教養学部	45	26	21	35	127 (42.3%)		
	教育学部	18	23	22	32	95 (49.0%)		
							222 (44.9%)	

2. アンケートの内容

学生に対する学習・生活実態調査として、住まい・通学方法、アルバイト時間、授業外学修時間、ふだんの時間の過ごし方、進路に向けた準備・活動、研究環境、進路支援の体制などの満足度などについて調査した。また、2021年度のアンケートから、⑤アクティブ・ラーニングに関する質問、⑫研究環境についての満足度の質問、⑬経済的支援の質問、⑭心身の健康相談体制の質問を新たに追加し、2023年度からは⑩国際交流センター（学生食堂）の利用状況の項目を追加して、実施している。

3. アンケートの集計と分析

3.1 「①～② 住まいと通学方法」についての集計と分析

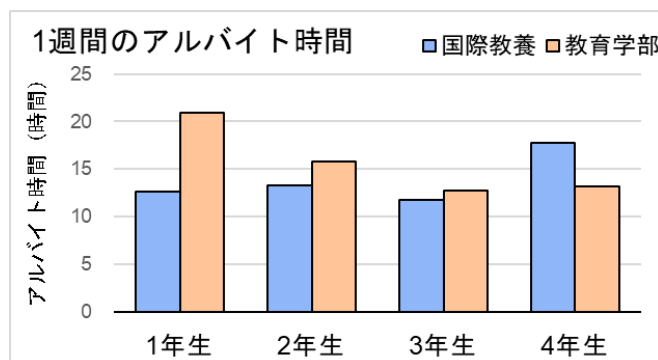
住まい	① 現在のあなたのお住まいについて、あてはまるもの1つをお選びください。 【選択肢】一人暮らしアパートなど、自宅、食事付きアパート、大学寮など														
通学方法	② 大学への通学方法について、あてはまるもの1つをお選びください。 【選択肢】徒歩、バス、電車、自動車、バイク、自転車など														
① 住まい 自宅に親族と同居している学生が70%（＝156/222）と多く、2023年度（64%）、2024年度（68%）とやや増加している。	<table border="1"> <tbody> <tr><td>自宅</td><td>156</td></tr> <tr><td>一人暮らし</td><td>48</td></tr> <tr><td>食事つき</td><td>11</td></tr> <tr><td>大学の寮</td><td>6</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	自宅	156	一人暮らし	48	食事つき	11	大学の寮	6	その他	1				
自宅	156														
一人暮らし	48														
食事つき	11														
大学の寮	6														
その他	1														
② 通学方法 47%（104人）の学生が自家用車で通学している。徒歩・自転車・バイクでの通学生は16%（36人）、電車・バスの公共交通機関の利用者は37%（82人）であり、公共交通機関の利用者が2024年度の23%から増えている。	<table border="1"> <tbody> <tr><td>自家用車</td><td>104</td></tr> <tr><td>バス</td><td>35</td></tr> <tr><td>徒歩</td><td>25</td></tr> <tr><td>電車</td><td>47</td></tr> <tr><td>バイク</td><td>6</td></tr> <tr><td>自転車</td><td>5</td></tr> <tr><td>送迎</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>	自家用車	104	バス	35	徒歩	25	電車	47	バイク	6	自転車	5	送迎	0
自家用車	104														
バス	35														
徒歩	25														
電車	47														
バイク	6														
自転車	5														
送迎	0														

3.2 「③ 1週間のアルバイト時間」についての集計と分析

アルバイト	③ 1週間あたりのアルバイト時間を入力してください（整数）。していない場合は、0を入力してください。
-------	--

1週間のアルバイト平均時間は14.7時間/週であり、2024年度の12.0時間/週から増加した。アルバイトに従事している学生の割合も85%となり、昨年度（2023年度）の79%から増加した。

時間	国際教養学部	教育学部
1年生	12.6	20.9
2年生	13.3	15.8
3年生	11.8	12.7
4年生	17.8	13.3
学部平均	14.1	15.2
全学平均	14.7時間	

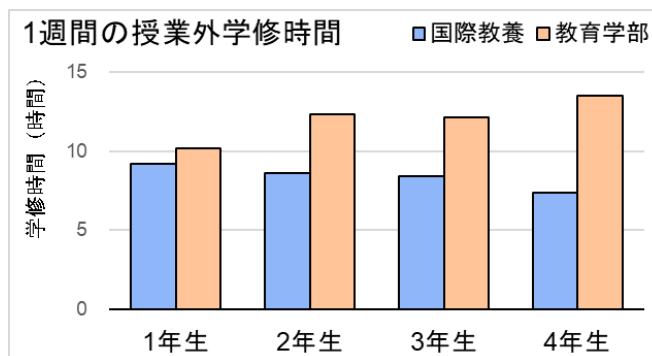


3.3 「④ 1週間の授業外学修時間」の集計と分析

授業外学修時間	④ 1週間の授業外学修時間合計を教えてください。平均的な数字を入力して下さい
---------	--

1週間の授業外学修時間は、全学平均で10.2時間となり、コロナ禍の2021年度（15.0時間）2022年度（14.9時間）より短くなった。学部別では、国際教養学部は8.4時間（2023年度10.1時間、2024年度9.4時間）、教育学部で12.3時間（2023年度15.2時間、2024年度12.8時間）であった。教育学部の4年生は13.5時間と高い値になった。

時間	国際教養学部	教育学部
1年生	9.2	10.2
2年生	8.6	12.5
3年生	8.4	12.1
4年生	7.4	13.5
学部平均	8.4	12.3
全学平均	10.2時間	



3.4 「⑤～⑨ふだんの時間の過ごし方について」「⑩ 国際交流センター（学生食堂）利用状況」「⑪アクティブ・ラーニング」の集計と分析

ふだんの時間の過ごし方	ふだんの時間の過ごし方について、次の項目は1週間（月曜日～日曜日）で何時間くらいになりますか。今学期の平均的な1週間を振り返って、それぞれについてあてはまるもの1つをお選びください。 【選択肢】0時間、1時間未満、1～2時間台、3～5時間台、6～10時間台、11～15時間台、16～20時間台、21時間台以上
	⑤ 大学の授業などへの出席
	⑥ 友だちづきあい
	⑦ サークルや部活動
	⑧ 社会活動（ボランティア、NPO活動などを含む）
	⑨ その他（読書・テレビ・インターネットなど）

⑤ 大学の授業などへの出席 67% (148 人) の学生が、授業に 6 時間/週以上出席している。一方で、学生の出席時間が 6 時間以下の学生が、33% (74 人) いる。2024 年度と同程度の値である。	0時間	3	
	1時間未満	7	
	1～2時間台	15	
	3～5時間台	49	
	6～10時間台	47	
	11～15時間台	35	
	16～20時間台	32	
	21時間台以上	34	
	⑥ 友だちづきあい 48% (106 人) の学生が 6 時間/週以上を「友だちづきあい」に使っている。2024 年度と同程度の値である。	0時間	7
1時間未満		24	
1～2時間台		37	
3～5時間台		48	
6～10時間台		40	
11～15時間台		28	
16～20時間台		16	
21時間台以上		22	
⑦ サークルや部活動 65% (144 人) の学生がサークル・部活動に参加していない。2024 年度 (70%) よりもやや減少した。		0時間	144
	1時間未満	26	
	1～2時間台	23	
	3～5時間台	13	
	6～10時間台	7	
	11時間以上	6	
	16～20時間台	3	
	21時間台以上	0	
	⑧ 社会活動（ボランティア、NPO 活動などを含む） 58% (129 人) の学生がサークル・部活動に参加していない。2024 年度 (49%) よりもやや増加した。	0時間	129
1時間未満		44	
1～2時間台		20	
3～5時間台		13	
6～10時間台		11	
11～15時間台		2	
16～20時間台		3	
21時間台以上		0	
⑨ その他（読書・テレビ・インターネットなど） 58% (129 人) の学生が 6 時間以上/週を「読書・テレビ・インターネットなど」の時間に費やしている。2024 年度と同程度の値である。		0時間	4
	1時間未満	18	
	1～2時間台	31	
	3～5時間台	40	
	6～10時間台	50	
	11～15時間台	26	
	16～20時間台	17	
	21時間台以上	36	







国際交流センター (学生食堂) 利用状況	⑩ 国際交流センター（学生食堂）の一週間あたりの利用頻度についてお答えください。/Please indicate how often you use International Exchange Center (the student cafeteria) per week.
---------------------------------	---

国際交流センター（学生食堂）を 44% (=98/222) の学生が週に 1 回も利用していない。2 回以上の利用学生は 39% (=87/222) であり、2024 年度 (31%) よりもやや増加した。

0回	98	
1回	36	
2回	28	
3回	25	
4回	14	
5回	20	

アクティブ・ラーニング	⑪ 本学で多用しているアクティブ・ラーニング（グループワーク、プレゼンテーション、レポート、実習など）について、当てはまると思われることをお答え下さい【複数回答可】。
--------------------	--










アクティブ・ラーニングの効果として、学生は「友人と相談しながら学習できる」、「他人の意見が参考になる」を上げており、全体の68%（=(183+147)/488）を占めている。一方で、「アクティブ・ラーニングは個人学習よりも学習内容が薄くなる」と感じている学生は11%となり、2024年度の5%から増加した。

友人と相談しながら学習ができる。	183	
他人の意見が参考になる。	147	
個人学習よりも学習内容が浅くなる。	56	
グループワークのグループ分けに問題を感じる。	40	
教員によってやり方が異なるので、混乱する	40	
英語会話の学習には効果的である。	22	

3.5 「⑫ 大学卒業後の進路等への準備」のアンケートの集計と分析

大学卒業後の進路への準備について	⑫ 大学卒業後の進路（就職、大学院進学等を含む）に向けた準備・活動をいつ頃から始めようと考えていますか？または、始めましたか？
	【選択肢】 大学1年生の頃、大学2年生の頃、大学3年生の前期、大学3年生の夏休み、大学3年生の後期、大学4年生の前期、大学4年生の夏休み以降、わからない。就職するつもりがない

「進路に向けた準備・活動時期」については、64%（142人）の学生が、「2年生」から「3年生の夏休み」の間に活動を始めた（または始めたい）と答えており、適切な時期と判断される。

大学1年生の頃	13	
大学2年生の頃	45	
大学3年生の前期	67	
大学3年生の夏休み	30	
大学3年生の後期	37	
大学4年生の前期	11	
大学4年生の夏休み以降	2	
わからない	13	
就職するつもりがない	1	
学部段階では特に準備・活動をしない	0	

3.6 「⑬～⑳ 本学についての満足度」の集計と分析

本学についての満足度	本学について、どのくらい満足していますか。それぞれについて、あてはまるもの1つをお選びください。 【選択肢】 とても満足している、まあ満足している、どちらでもない、あまり満足していない、全く満足していない
	⑬ 研究環境（図書館、学習スペース、教員のサポートなど）についての満足度
	⑭ 進路支援の体制（教員採用試験対策、就職セミナーやガイダンスなど）
	⑮ 教員（専門性の高さやよい影響を受けるなど）
	⑯ 授業・教育システム（教育内容やカリキュラム、ゼミ（教科、教職、卒論等）など）
	⑰ 経済的支援
	⑱ 心身の健康相談体制
	⑲ 友人関係
	⑳ 大学生活を総合的に判断して

本学についての満足度を⑬～⑳の8項目で評価した。好意的な評価（「とても満足している」「まあ満足している」）の割合を【 】内に示す。好意的な評価の割合は、2024年度と比べると全般的にやや低くなっている。

「⑱友人関係」85%が最も高く、次いで「⑬研究環境(図書館、学習スペース、教員のサポートなど)」83%、「⑭教員(専門性の高さやよい影響を受けるなど)」82%、「⑯授業・教育システム(教育内容やカリキュラム、ゼミ(教科、教職、卒論等)など)」77%、「⑰進路支援の体制(教員採用試験対策、就職セミナーやガイダンスなど)」74%、と続いている。一方で、「⑲心身の健康相談体制」および「⑳経済的支援」についての満足度は、それぞれ63%、46%と低い値となっている。

「⑲大学生活を総合的に判断しての満足度」については、79%が好意的な評価であった。2023年度は76%、2024年度は82%と推移している。

【 】内の数値は、「とても満足している」「まあ満足している」の占める割合を示す。 ()内は、昨年度2023年度の同割合を示す。			
⑬ 研究環境(図書館、学習スペース、教員のサポートなど)についての満足度【83%】(87%)	とても満足している	83	
	まあ満足している	102	
	どちらでもない	27	
	あまり満足していない	8	
	全く満足していない	1	
	判断できない	1	
⑭ 進路支援の体制(教員採用試験対策、就職セミナーやガイダンスなど)【74%】(79%)	とても満足している	76	
	まあ満足している	89	
	どちらでもない	38	
	あまり満足していない	9	
	全く満足していない	3	
	判断できない	7	
⑮ 教員(専門性の高さやよい影響を受けるなど)【82%】(83%)	とても満足している	84	
	まあ満足している	99	
	どちらでもない	30	
	あまり満足していない	6	
	全く満足していない	2	
	判断できない	1	
⑯ 授業・教育システム(教育内容やカリキュラム、ゼミ(教科、教職、卒論等)など)【77%】(77%)	とても満足している	74	
	まあ満足している	98	
	どちらでもない	35	
	あまり満足していない	9	
	全く満足していない	5	
	判断できない	1	
⑰ 経済的支援【46%】(53%)	とても満足している	57	
	まあ満足している	46	
	どちらでもない	64	
	あまり満足していない	31	
	全く満足していない	16	
	判断できない	8	
⑱ 心身の健康相談体制【63%】(66%)	とても満足している	71	
	まあ満足している	68	
	どちらでもない	58	
	あまり満足していない	12	
	全く満足していない	4	
	判断できない	9	
⑲ 友人関係【85%】(89%)	とても満足している	119	
	まあ満足している	69	
	どちらでもない	18	
	あまり満足していない	11	
	全く満足していない	2	
	判断できない	3	
⑳ 大学生活を総合的に判断して【79%】(82%)	とても満足している	73	
	まあ満足している	103	
	どちらでもない	29	
	あまり満足していない	13	
	全く満足していない	3	
	判断できない	1	